



我孫子市
Abiko city

令和7年6月24日
定例記者会見資料

市内大学生が制作した映画「それでも、夢を。」DVDを市へ寄贈 2作目の制作が決定し、市内ロケの協力依頼のため星野市長を訪問

令和6年に、市内2大学（中央学院大学・川村学園女子大学）の学生や高校生が地元の活性化につなげるため市内を舞台に制作した映画「それでも、夢を。」のDVDを、市へ寄贈いただくこととなりました。

また、8月から“ふるさと”を題材とした2作目の映画（別紙参照）を制作することとなり、市内ロケに関して星野市長に協力を要請します。

映画「それでも、夢を。」DVD寄贈&2作目の市内ロケ協力依頼

日 時:6月24日(火)午前11時頃(市長定例会見後)

場 所:市役所議会棟1階 第一委員会室

出席者:(敬称略)

中央学院大学	木暮 亮生(4年)、菅井 一誠(4年)、増山 達也(4年)、 叶田 麻奈(3年)、本田 琉一郎(2年)
川村学園女子大学	重野 羽美(4年)、川村 優奈(4年)
我孫子市	星野 順一郎

本プロジェクトは、市内2大学の学生と市に縁のある学生、社会人が共同して映像制作を実施することを通し、市への愛着や誇りをより高めることを目的としています。2作品目の映像作品では、「居場所や帰れる場所」を表現したいと思っています。作品を鑑賞した方に、地域の中で生活する大学生と交流することが、豊かな人生へつながるということを感じていただくことを目的としています。

また、「ロケのまち」としての我孫子市をアピールできるように工夫し、我孫子により多くの人に訪れていただくきっかけとなるとともに、交流人口の創出にも貢献したいと考えています。

完成した作品は、市内で上映会を実施し、市内2大学（中央学院大学・川村学園女子大学）の各学園祭でも上映予定です。

※市制施行 55 周年協賛事業（申請予定）

【問い合わせ】

◎訪問について

我孫子市 企画総務部 秘書広報課
あびこの魅力発信室 担当:深田、奈良
電話:04-7185-2493

◎映画について

我孫子映画制作プロジェクト
担当:菅井、木暮、重野
電話:080-9555-9764
メール:abikodomo790@gmail.com

映画「それでも、夢を。」概要

【あらすじ】

脚本家になる夢を見る高校生(2年)の望^{のぞむ}夢と、将来の不安に押し潰されそうな大学生(3年)の志^し信。先輩の天音^{あまね}(大学4年生)をきっかけに出会った2人。

お互いに悩み合うことで、見えてくるものとは……。

—それでも、夢を—

【企画概要】

制作期間:7月21日～10月1日

参加人数:約50名(大学生、高校生、市民の方々など)

映画上映:中央学院大学あびこ祭、川村学園女子大学鶴雅祭、あびこまち活フェス、湖北
地区公民館、コミュニティ・カフェ EMANON、ラコルタ柏 ワガママ学園文化祭、
北海道富良野、柏市子ども・子育て支援複合施設「TeToTe」

クラウドファンディング:

31名の方に約22万円のご支援とその他ご寄付を頂きました。

【反響～頂いた声～】

「交流することで、お互いに良い刺激を与え合っている姿が印象的だった」「新しい取り組みで面白い」という声を頂きました。

第2弾 映画「ただいまと言える場所」(仮題)

【映画概要】 脚本: 本田 琉一郎 (中央学院大学2年)

ふるさとを嫌う新木^{あらきはく}羽来は、友人の下沼^{したぬまだいち}大地と、いつものカフェでたわいもない話をしていた。

そこで、この町へ越してきたばかりの大学生 高野^{たかのゆかり}優花梨と出会い、ひょんなことから「町案内」をするはめになってしまう。

この町に未練の無い新木は気乗りしないまま同行するが、高野との交流や先輩 久我^{くが}たちの導きによって、町の魅力に心を動かされて――

【この作品で伝えたいこと】

○「居場所」や「帰る場所」の大切さを表現したいと思っています。

○人が自立しようとするとき、心のよりどころとなる居場所の存在は、とても重要なものだと思います。居場所が無ければ、前に進むことも、後ろに退くこともできません。

○地元を一つの居場所の形としています。地元を知ること、地元の方と交流することが、自分の居場所を作る方法であると思います。

○この作品を通して、地元を離れた人や、離れるかどうか悩んでいる人たちが、今一度自分の居場所に想いを馳せ、そして一步を踏み出すきっかけになれば、と考えています。

【主催団体】

任意団体 Unitry

団体メンバー: 中央学院大学6名、川村学園女子大学3名、中央学院高校1名、
その他高校生1名、大学生2名、社会人4名

Instagram: https://www.instagram.com/ab_unitry/



◀メンバーの大学生がデザインした、
市の鳥オオバンを使った団体ロゴマーク

【制作協力】

中央学院大学地域連携カイギ部
川村学園女子大学かわむらボ(サークル)

【市内各所のロケ地(予定)】

期間:8月1日~9月30日(約20日間)※予定

場所:手賀大橋、手賀沼公園、手賀沼親水広場、オルタナティブスクール ラ・ルース、
中央学院大学、鳥の博物館、市内東部エリア、宮ノ森公園、竹内神社、
川村学園女子大学 ほか

【映画完成後の予定】

- ・市内の大学生の活動の活性化につなげる
- ・制作した映画を用いて、我孫子市と市内2大学(川村学園女子大学・中央学院大学)のPRに活用する

【制作費のクラウドファンディング実施】

本映画の制作には、レンタル機材などの経費で総額約50万円を見込んでいます。学生主体で制作することから、経費を捻出するためにクラウドファンディングを活用して、幅広く資金面の協力をお願いしたいと考えています。

期 間:8月中旬開始予定

サイト:CAMP FIRE(<https://camp-fire.jp/profile/unitry/projects>)